



怡野集

夏

特別
イ 4
3163
31 (3)



首夏	首夏惜春	山家首夏	首夏待郭公
首夏郭公	更衣	惜更衣	更衣惜春
末交衣	早夏	早夏學	社頭早夏
餘花	尋餘花	尋見餘花	賞餘花
餘花浦河	餘花留人	蓬櫻	山家櫻
野新樹	新樹妨月	雨巾木繁	新樹
夜亦不	再花濕月	知亦如存	知亦如存
知亦連垣	再花誰家垣	知亦如存	知亦如存
知亦不	遠村亦花	故鄉亦花	里亦不
知亦不	野徑亦花	知亦語語	再花照路
水邊亦不	名所亦花	亦花未遍	亦花未遍
			亦花未遍

夕花苗客 社頭夕花 葵 柳葵 寄葵連院

寄葵懷旧 加茂系 郭公 尋郭公 日尋郭公

引友尋郭公 衆人尋郭公 尋知郭公 待郭公

夕待郭公 年待子規 日中待郭公 夕待郭公 夜待郭公

閑夜待子規 郭公曉待月 對月待郭公 昨夜待郭公 終夜待郭公

曉待郭公 待郭公空明 連夜待郭公 每夜待郭公 雨中待郭公

老人待郭公 老人待杜鵑 枕待郭公 家待郭公 秘居待郭公

常待郭公 名所待郭公 社江待郭公 園待郭公 里待郭公

故鄉待郭公 山中待郭公 山家待子規 對藤花待郭公 對丹花待郭公

對橋待郭公 末閑郭公 五月末郭公 待聞郭公 更待郭公

人傳郭公 初郭公 始閑郭公 聞郭公 遠閑郭公

遠聞郭公 近聞郭公 兩方聞郭公 郭公何方 年聞郭公

終日聞郭公 日聞郭公 夕聞郭公 薄暮聞郭公 暮夕聞郭公

夜聞郭公 連夜聞子規 隔夜郭公 閑夜郭公 涼夜郭公

涼夜郭公 終夜郭公 月前郭公 月中郭公 郭公驚夢

郭公暮眠 寢覺郭公 曉月聞郭公 曉郭公 曙郭公

朝聞郭公 郭公一聲 郭公奇珍 終聞郭公 忍音郭公

郭公聲幽 郭公過 郭公早過 郭公未飽 郭公未遍

郭公過 每家聞郭公 郭公所々 郭公聲頻 郭公數聲

郭公稀 待客聞郭公 枕聞郭公 老時郭公 郭公如春

雲間杜鵑 雲外郭公 雨中郭公 雨後郭公 山郭公

郭公出山 山語郭公 林郭公 樹音郭公 林郭公

長目録

森子規	國郭公	野郭公	旅中郭公	旅者郭公
關詒郭公	海邊郭公	舟中郭公	水詒郭公	海詒郭公
廣杜鵑	水上郭公	何郭公	江上杜鵑	名所郭公
社頭郭公	寄神杜子規	古寺郭公	故鄉郭公	古宮郭公
林甲郭公	里郭公	山家郭公	田家子規	關中郭公
郭公鳴鶴	對中花開子規	閏四月杜鵑	五月時郭公	五月五日郭公
五月晦子規	閏五月郭公	郭公欲歸	郭公陶山	更愈郭公
杜鵑催客	寄郭公懷	子規坊懷	寄子規懷	花橋
植橋	花橋初昇	花橋風	花橋薰風	舟中杜鵑
夕花橋	夜杜鵑	兩夜杜鵑	橋薰風	杜鵑薰袖
志橋薰枕	橋遠薰	禁庭橋	故鄉杜鵑	簾花橋

依橋客耳	杉橋	橋知苦	對志橋思苦	寄橋稅
寄花橋懷	寄橋懷	棟花	早苗	株早苗
里早苗	山田早苗	山畦早苗	澤邊早苗	遠早苗
近早苗	名所早苗	急早苗	雨中早苗	舟後早苗
寄早苗稅	五月五日	五月五日雨	藥玉	端午懷
菖蒲	曳菖蒲	尋引菖蒲	采之曳菖蒲	簾菖蒲
葦菖蒲	黃蕪菖蒲	每家葦菖蒲	袖上菖蒲	雨中菖蒲
名所菖蒲	沼菖蒲	江菖蒲	澤菖蒲	池菖蒲
水邊菖蒲	旅宿菖蒲	寄菖蒲懷	寄菖蒲懷	梔子花
箏	五月雨	初五月雨	夕五月雨	夜五月雨
連白五月雨	五月雨久	山中五月雨	松五月雨	牧五月雨

野五月雨	山詠五月雨	行路五月雨	聖詠五月雨	詠り五月雨
詠宿五月雨	詠泊五月雨	山家五月雨	田家五月雨	庵五月雨
田五月雨	山田五月雨	川五月雨	江五月雨	渡五月雨
岸五月雨	橋五月雨	溪五月雨	池五月雨	沼五月雨
邊五月雨	塩産五月雨	五月雨舟	溪五月雨	浦五月雨
水邊五月雨	名所五月雨	五月雨有餘	五月雨難晴	五月雨得晴
五月雨晴	五月雨述懷	五月雨懷舊	螢	夜螢
深夜螢	不存螢	庵螢	忘前螢	腐草化為螢
螢火似漁火	螢火如玉	螢火似灯	草螢似露	螢火似星
叢中螢	山中螢火	川螢	澤邊螢	湖上螢火
江螢	螢火四舟	名所螢	螢火秋近	水鷄

水鷄所々	夜水鷄	水鷄終夜	夜完水鷄	月外水鷄
曙水鷄	曉水鷄	閑居水鷄	山家水鷄	水鷄何處
兩方水鷄	夏月	對泉待月	夏夜曉月	曉月曉月
終夜月	夏月易明	夏夜就月	夏夜惜月	夏夜月邊
夏月待人	夏夜月明	水夏月	夏月停水	水上夏月
河上夏月	磯夏月	谷夏月	山中夏月	名所夏月
樹間夏月	雲有夏月	雨後夏月	夏月涼	依月夏涼
夏月似雪	夏月似霜	夏月似冰	荒屋夏月	夏月如秋
瞿麥	唐梅子	野梅子	名所梅子	庭夜夏
小籠梅子	梅子色々	瞿麥勝意	折梅子	籠梅子
惜瞿麥	見床夏	梅相見梅子	梅見床夏	夕梅子

兩夜思望表 梭子厭露 望表露滋 望表帶露 夏草

朝夏草 庭夏草 不夜夏草 竹籬夏草 野夏草

森夏草 行路夏中 旅中夏草 渡夏草 海邊夏草

草深陽船 江夏草 名所夏草 雨中夏草 雨後夏草

夏草滋 夏草漸深 夏草深 夏草花 新夏草

兼待秋花 草花先秋 秋花夏開 野草秋近 鷄川

夕鷄川 深夜鷄河 名所鷄川 瀨鷄舟 鷄川篝

近鷄舟 遠鷄舟 遠村炊造火 里炊造火 浦炊造火

照射 山中照射 深山照射 野照射 澤邊照射

名所照射 峯照射 連夜照射 曉更照射 照射至曉

蟬 晚風聞蟬 閑中聞蟬 晚夏蟬聲 蟬聲秋近

寄禪述懷 蝸 蓮露 風前荷露 蓮會露

夕顏 瓜 扇 冰室 夕立

夕立雲 市夕立 川夕立 虫夕立 野夕立

納涼 避暑同 納涼風 樹陰納涼 松陰納涼 竹間納涼

柳陰納涼 森納涼 山家納涼 山陰納涼 浦納涼

松納涼 河邊納涼 水邊納涼 納涼至晚 夜納涼

對泉忘夏 夜對泉 泉聲入夜涼 泉邊露月 樹陰露月

掬泉 松下泉 松下掬泉 涼風 涼風吹蓮

涼風吹竹 松風秋近 夜風似秋 晚風似秋 水間晚涼

樹陰晚涼 松下逐涼 水邊涼自秋 樹陰留客 樹陰留秋

晚夏涼 夏被 何夏被 澆夏被 夜夏被

毎花待郭々

代 萩河子のみすけはあつて子規いさる里小うたふらふと森

何侍

有才待郭々

月 杜鶴まゝ小福ぬゑの敷よりまゝ新のついですゑ

信通

名人待郭々

月 いくせんあぬとわすしの郭公まきととら材魚の定

家隆

老人待郭々

代 老らるるまの女をのまておんどのひらあつち

お性

仲待郭公

全 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

資隆

家々待郭公

月 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

空忠

後長待郭々

代 我あふまはてきつせと杜守のあひむれむくく

并月侍

常待郭々

形 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

築式部

社頭待郭々

代 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

惟明聖王

甲待郭公

全 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

宗家

左郷待郭公

代 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

法性文を

山待郭々

代 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

家隆

山家待郭公

代 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

道命

對孫待子規

代 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

家隆

對外待郭々

全 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

長能

對橋待郭公

月 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

定家

東岡郭公

代 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

吾之

五月末郭公

月 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

菅原

待郭公

代 ちいねははなすいともまはれぬふらふらとておと

忠良

岡部公

忠孝
後格
干
新
全
月
日
後格
代
代
月
全
子
月
全
月
子
月
全
月
子
月
全
月
子

遠岡部公

遠岡部公

遠岡部公

忠孝
後格
干
新
全
月
日
後格
代
代
月
全
子
月
全
月
子
月
全
月
子
月
全
月
子

終宵郭々
日之夕郭々
夕之郭々

暮之夕郭々

夜之夕郭々

連夜関郭公

備夜郭公

闇夜郭々
涼夜郭公
涼夜郭公

涼夜郭々

代 山崎とあるは程どなりと鳴きつゝあわぐ事とあり
 全 終宵とあるは郭公よりひひと不啼くといふ
 後 式とあり又月面らる子規のさびたてまね日だなる
 橋 あゝ曳のしは鶴里をたはきてん時ふなれとあり
 代 ぼつとあるはつらりといふとさびたてまね日だなる
 月 橋の戸はさびるゝとありと郭公はさびとてと人にもおもはれ
 月 夕月とあるは時の子規のありぬるをうたへてききあはる
 子 里さるゝとあるは時の子規のありぬるをうたへてききあはる
 代 郭公は終宵といふ思ふもさびたてまね日だなる
 友 ぼつとあるはつらりといふとさびたてまね日だなる
 全 又月面とあるはつらりといふとさびたてまね日だなる
 後 代 ぼつとあるはつらりといふとさびたてまね日だなる
 物 終宵のさびたてまね日だなる

後接 橋とのさびたてまね日だなる
 全 終宵のさびたてまね日だなる
 月 橋の戸はさびるゝとありと郭公はさびとてと人にもおもはれ
 月 夕月とあるは時の子規のありぬるをうたへてききあはる
 子 里さるゝとあるは時の子規のありぬるをうたへてききあはる
 代 郭公は終宵といふ思ふもさびたてまね日だなる
 友 ぼつとあるはつらりといふとさびたてまね日だなる
 全 又月面とあるはつらりといふとさびたてまね日だなる
 後 代 ぼつとあるはつらりといふとさびたてまね日だなる
 物 終宵のさびたてまね日だなる

小辨

大式三位

公卿

原田貞王

以保

仁科貞王

為忠

讀人不知

勝定

敦理

高遠

伊勢

若菜

月子郭々

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

家持

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

家人

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

式部

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

成保

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

吾之

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

空佐

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

光綱

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

大政君

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

六条

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

上中

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

永実

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

俊成

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

通親

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

長尚

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

後系

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

仲家

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

家持

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

美介

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

兼基

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

伊奇

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

不知

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

勝命

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

後徳

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

大寺

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

讀人

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

不知

月子郭々 月子郭々 月子郭々 月子郭々

空保

郭

一考

長

二考と云ふ事す小郭と云ふ事すつひに
信松 是の月ふあれ也子親を二考のりふなり
全 数りてさういはる切郭精もふふたこ色少なり
子 二考と云ふ事す郭公清小孫也の是は是て
形 精一考といはるは人のいはるはく切
目 さうてさういはるは切郭中より是の二考
目 二考と云ふ事す郭公清もこれなり
動 精もさういはるは二考といはるはこれなり
月 一考といはるは二考といはるはこれなり
後 二考と云ふ事す郭公清もこれなり
全 二考といはるは二考といはるはこれなり
代 二考といはるは二考といはるはこれなり
信松 二考といはるは二考といはるはこれなり
日 二考といはるは二考といはるはこれなり
日 二考といはるは二考といはるはこれなり

以成
宇治子太政
希傳
道經
宗持
相掩
經信
雅經
行武
其後
永傳
吾之
以太補
吉吉

郭公清

郭公

郭公

郭公

郭公

子
子 二考と云ふ事す郭公清もこれなり
代 二考といはるは二考といはるはこれなり
信松 二考といはるは二考といはるはこれなり
日 二考といはるは二考といはるはこれなり
日 二考といはるは二考といはるはこれなり
動 二考といはるは二考といはるはこれなり
月 二考といはるは二考といはるはこれなり
後 二考といはるは二考といはるはこれなり
全 二考といはるは二考といはるはこれなり
代 二考といはるは二考といはるはこれなり
信松 二考といはるは二考といはるはこれなり
日 二考といはるは二考といはるはこれなり
日 二考といはるは二考といはるはこれなり

敬也
以成
志げ元
小辨
宗持
其方
郭補
大上
申
大國
大太
頼補

桂小部々

木下部々

郭公部々

豊外部々

百分部々

代 孫子とる武家の唐小桂鶴わらふ物意は桂きくこれ 村冒

おとすといひのん孫はむきと長孫ききわ我のこ 後人きま

桂鶴昔はなとてとてとてのひさりふ一孝うとてふ 忠命

ふらほそふとてとての桂う若う若うのまらた 死暇

いどの交鳴ううとて子親をいあう物聲のうら 猶捕

代 郭公ううとてね孝をいあうふむうふふの孫覚い 長人不知

一孝いひとわね孝をいあうふむうふふの孫覚い 高倉

代 桂公ううとてね孝をいあうふむうふふの孫覚い 実高

桂公ううとてね孝をいあうふむうふふの孫覚い 周防内侍

子親とらうとてね孝をいあうふむうふふの孫覚い 美つね

桂鶴をいあうとてね孝をいあうふむうふふの孫覚い 長人不知

桂鶴をいあうとてね孝をいあうふむうふふの孫覚い 経信

雨後郭々

山郭々

千 雨のゆるゆるとて子親をいあうふむうふふの孫覚い 信實

代 雨のゆるゆるとて子親をいあうふむうふふの孫覚い 式子内親王

雨のゆるゆるとて子親をいあうふむうふふの孫覚い 家隆

雨のゆるゆるとて子親をいあうふむうふふの孫覚い 忠良

雨のゆるゆるとて子親をいあうふむうふふの孫覚い 澄岐

雨のゆるゆるとて子親をいあうふむうふふの孫覚い 撰政

雨のゆるゆるとて子親をいあうふむうふふの孫覚い 紀林

雨のゆるゆるとて子親をいあうふむうふふの孫覚い 大友

雨のゆるゆるとて子親をいあうふむうふふの孫覚い 能因

雨のゆるゆるとて子親をいあうふむうふふの孫覚い 長人不知

雨のゆるゆるとて子親をいあうふむうふふの孫覚い 長人不知

野に出山

形 松鶴の子は山崎より出山するとのと小春の落くる 西り。

山崎郭々

月 又月毎の月には松鶴と山崎の松鶴を結ぶるは直に松鶴

林有郭々

子 凡松鶴の子は松鶴の子親禁のその松鶴の子

林子親

代 又月毎に入山したる松鶴の子は松鶴の子親禁のその松鶴の子

森郭々

形 松鶴の子は松鶴の子親禁のその松鶴の子

岡杜鶴

形 松鶴の子は松鶴の子親禁のその松鶴の子

野郭々

形 松鶴の子は松鶴の子親禁のその松鶴の子

松才郭々

形 松鶴の子は松鶴の子親禁のその松鶴の子

形 松鶴の子は松鶴の子親禁のその松鶴の子

相衣

松名郭々

代 松鶴の子は松鶴の子親禁のその松鶴の子

關法郭々

形 松鶴の子は松鶴の子親禁のその松鶴の子

信保

山四子親

形 松鶴の子は松鶴の子親禁のその松鶴の子

色房

舟才郭々

形 松鶴の子は松鶴の子親禁のその松鶴の子

高真

水鏡郭々

形 松鶴の子は松鶴の子親禁のその松鶴の子

忠見

水止郭々

形 松鶴の子は松鶴の子親禁のその松鶴の子

根政

河上郷公
に上岡郷々
尾所郷々
社既郷公

高社極杜鶴
古寺子親
友郷郷公

代 かくて管吹堂のくつふつゆの道つらけ村為の定
後多羽院
定忠
腰短
謙倉太直
為家
淡人志
後久我大政
南基
法性入道
頼貞
中一
家持
持世
忠孝

古家郷々
林家子親
里郷公

山家郷々
田家郷々
不才郷々

後 たるは公家より見ふふとてハ杜鶴をれと昔公にむかす事
仁和堂
長方
り宗
季貞
つらき
元忠
言家
美之助
是則
讀人志
後池大寺
教り
後光
俊成

子規啼橋

後 是之ぬ花橋小かきとてさきとふ代せりせる春さきとあふ

讀人不知

ち 是れとて花橋とてさきとて子規花橋より新のうららぬ

吾々

新 杜鵑花橋のうららぬとて啼ひ音の人もあはしき

讀人不知

代 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

柳泉式部

日 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

振川右大臣

全 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

隆信

助 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

り宗

代 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

小室宗

後 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

延喜帝

助 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

杜鵑

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

後出

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

國信

助 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

俊頼

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

新 ちとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとてさきとて

所附

郭公増述懐

寄郭公懷舊

并橋

後橋

一考ればさるる郭公とて小き方と云ふも

世中此の月の小郭公と云ふは

内月より花橋の重なるが昔の人此種の書をする

後の小き人との心とて花橋をさるる

若くは花橋のなり橋の首ののふ書とさるる

きくは花橋の白むいさるる

風小なる花橋の社ふる

橋のば花橋の白むいさるる昔の神と云ふ

六つとら花橋の橋のいさるる

我々の花橋のふくむいさるる

又月より花橋のふくむいさるる

若くは花橋の白むいさるる

又月より花橋のふくむいさるる

浮世のいさるる

長所

と朝

読人

全

志山院

白雲

不知読人

忠良

宗隆

親宗

言置

又

相模

家基

夕舟橋

夜舟橋

る舟橋

橋薫

る橋薫袖

花橋薫枕

橋遠薫

紫橋

左郷橋

夕舟橋のいさるる

夜舟橋のいさるる

る舟橋のいさるる

橋薫のいさるる

る橋薫袖のいさるる

花橋薫枕のいさるる

橋遠薫のいさるる

紫橋のいさるる

左郷橋のいさるる

花橋のいさるる

橋のいさるる

花橋のいさるる

橋のいさるる

花橋のいさるる

橋のいさるる

通具

後舟院

後忠

後園

後舟

崇徳院

忠書

基後

永縁

口衡

廣直

内大臣

衣笠

讀人不知

笠井橋

依橋

折橋

橋初着

朝橋

寄橋

寄橋

寄橋

代 橋の袖はさくらさくらと見ゆり小なりれり此等とて

代 朝の依橋をさくらと見ゆり枝少くはてと名はさくら

代 折橋をさくらと見ゆり我若の花橋の白くさくらとて

代 依橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 朝橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 寄橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 寄橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 寄橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 寄橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 寄橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

アツキ
棟花

早苗

採早苗

里子苗

山田早苗

山田早苗

澤早苗

遠早苗

近子苗

名所早苗

形 ありて咲きとりの本法落しとて又月苗と見ゆり

代 折橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 依橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 朝橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 寄橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 寄橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 寄橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 寄橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 寄橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

代 寄橋をさくらと見ゆり此等とて名はさくらとて

急早苗

雨中小苗

有早苗

寄早苗

五月五日

五月五日

某玉

端午述懐

月とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 代とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 日とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 全とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 早苗とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 有早苗とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 寄早苗とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 五月五日とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 五月五日とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 某玉とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 端午述懐とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 小鏡

菖蒲

東菖蒲
西菖蒲

菖蒲

菖蒲

金とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 粉とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 歳子代とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 代とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 有とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 全とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 早苗とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 有早苗とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 寄早苗とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 五月五日とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 五月五日とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 某玉とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 端午述懐とていふは田の事なりといふべからず秋も亦とていふべし
 小鏡

算草蒲

金 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 兼久

貴砂算草蒲

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 定佐

毎家算草蒲

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 木那丸

袖上算草蒲

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 堀川

両中算草蒲

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 振政

尾所算草蒲

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 孝善

沼草蒲

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 駒

仁草蒲

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 良選

澤草蒲

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 秀実

池草蒲

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 堀川

水邊草蒲

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 在形久

枯草草蒲

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 資澄

算草蒲

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 雅頼

高草蒲

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 秋雪

花子草

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 永縁母

五月雨

格 草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 俊成

草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 小辨
草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 定家
草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 實登
草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 何光
草のくさのてつ多わち草又月草つてをりては 野老

初五月雨
 夕五月雨
 夜五月雨
 連日五月雨
 五月雨欠シ
 山中五月雨
 松五月雨
 牧五月雨
 野五月雨
 山崎五月雨

代 定規をせりしつゝわさ川瀬をいぼら又月夜のころ
 後徳大寺
 晴をむらむらあつた又月夜水滸しきと書く
 隆祐
 今 此れ小舟。又月夜日くれねわりの茶た書りて
 通後
 七月 又月夜の日記をねん。ありほく。あつたのころ。折れ境
 孔頼
 初 さらして。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 家長
 金 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 空通
 有 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 空年
 代 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 後徳大寺
 今 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 本内郷
 後徳大寺
 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 尾わた
 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 龍永
 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 八条

り初五月雨
 野五月雨
 龍五月雨
 旅泊五月雨
 山家五月雨
 田家五月雨
 庵五月雨
 田五月雨
 山田五月雨
 川五月雨

代 川の入はるゝ。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 尊兼
 有 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 山家
 代 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 後徳大寺
 有 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 朝阿
 月 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 仲
 有 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 山家
 有 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 山家
 金 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 山家
 有 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 山家
 有 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 山家
 有 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 山家
 有 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 山家
 有 又月夜の日記。あつたのころ。あつたのころ。あつたのころ。
 山家

仁五月雨

後五月雨

舟五月雨

池五月雨

漢五月雨

代 又月雨ふらきむらのとみ麻のほろふむらねら川の水 究光

全 又月雨ふらきむらのとみ一梓よるうららむらねけくね 祝玉是性

全 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

物 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

有 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

代 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

日 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

日 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

金 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

全 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

代 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

全 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

代 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

全 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

温五月雨

海五月雨

塩五月雨

五月雨舟

後五月雨

浦五月雨

水五月雨

尾五月雨

全 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

全 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

物 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

有 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

代 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

日 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

日 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

金 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

全 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

代 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

全 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

代 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

全 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

代 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

全 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

代 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

全 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

代 又月雨ふらきむらのとみさきさきるはつ葉のそんりりね 通村

五月雨及晴

五月雨及晴

五月雨及晴

五月雨及晴

五月雨及晴

五月雨及晴

堂

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

花堂

花堂

花堂

花堂

花堂

花堂

花堂

花堂

花堂

花堂

花堂

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

五月雨及晴の川柳... 後述... 美作

葉中堂
 山中堂
 川中堂
 澤中堂
 湖中堂
 江中堂
 堂中堂
 名所堂
 堂中堂
 水鶴
 水鶴所
 夜水鶴
 水鶴夜

後鳥羽院
 中務
 紫式部
 有為
 重政
 顯綱
 光厳
 光家

又月也... 後鳥羽院
 月... 中務
 月... 紫式部
 月... 有為
 月... 重政
 月... 顯綱
 月... 光厳
 月... 光家

夜水鶴
 月水鶴
 映水鶴
 曉水鶴
 園水鶴
 山家水鶴
 水鶴何方
 南水鶴
 春水鶴

代... 後鳥羽院
 全... 中務
 初... 紫式部
 有... 有為
 有... 重政
 有... 顯綱
 有... 光厳
 有... 光家

夜水鶴... 後鳥羽院
 月水鶴... 中務
 映水鶴... 紫式部
 曉水鶴... 有為
 園水鶴... 重政
 山家水鶴... 顯綱
 水鶴何方... 光厳
 南水鶴... 光家

對望待月

復夜曉月

曉夜曉月

碧月如明

友夜聚月

復夜惜月

結 友のこゝろのよみ海が海をわたりて月をいふらん 仁和寺志

代 天のよみあつたまに月をいふらん 好忠

金 友の月の清き夜に月をいふらん 真景

千 秋の月の清き夜に月をいふらん 経家

月 秋の月の清き夜に月をいふらん 道園

後 秋の月の清き夜に月をいふらん 内大臣

代 秋の月の清き夜に月をいふらん 左衛門

金 秋の月の清き夜に月をいふらん 親厚

千 秋の月の清き夜に月をいふらん 成竹

代 秋の月の清き夜に月をいふらん 左大臣

後 秋の月の清き夜に月をいふらん 讀人不知

代 秋の月の清き夜に月をいふらん 古忠

秋 秋の月の清き夜に月をいふらん 歌集

友夜月逢

復夜待月

復夜月明

水友月

友月浮水

水上友月

河上友月

友夜月

若友月

山中友月

若所友月

若所友月

代 友の月の清き夜に月をいふらん 家持

金 友の月の清き夜に月をいふらん 清通

千 友の月の清き夜に月をいふらん 色房

代 友の月の清き夜に月をいふらん 権吉

金 友の月の清き夜に月をいふらん 亮玄

千 友の月の清き夜に月をいふらん 亮玄

代 友の月の清き夜に月をいふらん 亮玄

金 友の月の清き夜に月をいふらん 亮玄

千 友の月の清き夜に月をいふらん 亮玄

代 友の月の清き夜に月をいふらん 亮玄

金 友の月の清き夜に月をいふらん 亮玄

千 友の月の清き夜に月をいふらん 亮玄

代 友の月の清き夜に月をいふらん 亮玄

金 友の月の清き夜に月をいふらん 亮玄

千 友の月の清き夜に月をいふらん 亮玄

樹有友月

有友月

有友月

夏有涼

休有友涼

夏有似涼

夏有似涼

夏有似涼

夏有似涼

夏有似涼

友月のまの青葉吹風よく定らぬ月長久

代 中しく小星をそよば福ねさみ時こころと夏の月

夕立のまの晴れねをまらぬ月とて夏の月

形 月とての晴れねをまらぬ月とて夏の月

物 重て涼からる夏衣うと記帳小星の月

物 志れて秋とてさく片圓のまの紫らと夏の月

全 夏のまの涼らる夏の月秋の夜白き

全 友の長しをわづらひる月の入を涼やま

友のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

月 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

月 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

代 夏のまの涼やまをえとて小わねる夏の月

再交草

ひ譲交草

新才交草

渡自交草

海守交草

草深隔舟

口自草

名所交草

南才交草

万後交草

自交草

後接 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 兼生

月 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 大輔

秋 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 元吉

舟 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 後人

代 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 守景

式 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 建保

夕 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 中

朝 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 里宗

千 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 法性

形 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 経信

代 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 恒弟

形 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 入

金 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 後光

い 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 忠孝

夏草深

夏草深

夏草深

夏草深

夏草深

夏草深

夏草深

夏草深

夏草深

代 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 好忠

月 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 実隆

全 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 季経

形 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 阿光

格 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 忠見

月 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 郵中

形 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 直盛

千 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 弘昭

秋 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 恒衛

後 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 読人

別 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 家持

今 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 守久

代 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 読人

月 交草くぬと少る大わす舟の森の下草さへ人なる 後光

夕鴉川

原夜鴉川

名所鴉川

鴉川

近鴉舟

遠鴉舟

遠村鴉舟

里鴉舟

南村鴉舟

形 鴉川舟をせよとて夜をねむる川の夕鴉川は

代 川の下の鴉舟小船の棹の音もよむ夜は小舟

全 漸く川も静かになり小舟も静かになり鴉舟の音も

可 遠く川も静かになり家も静かになり

形 川の中を流る鴉舟小船の音もよむ

形 大井川も静かになり鴉舟小船の音もよむ

代 鴉舟小船をせよとて夜をねむる川の夕鴉川は

代 川の下の鴉舟小船の棹の音もよむ夜は小舟

代 漸く川も静かになり小舟も静かになり鴉舟の音も

代 遠く川も静かになり家も静かになり

代 川の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 大井川も静かになり鴉舟小船の音もよむ

代 鴉舟小船をせよとて夜をねむる川の夕鴉川は

代 川の下の鴉舟小船の棹の音もよむ夜は小舟

照射

山中照射

原山照射

新山照射

澤山照射

岩所照射

葦原照射

連夜照射

曉夕照射

代 山の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 原山の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 新山の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 澤山の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 岩所の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 葦原の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 連夜の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 曉夕の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 山の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 原山の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 新山の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 澤山の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 岩所の中を流る鴉舟小船の音もよむ

代 葦原の中を流る鴉舟小船の音もよむ

叶射玉能

蝉

晚風吟

関身

晚夏

蝉

弄璋

桐

蓮露

千
死にてもかぐの杉も消さ小能事のまのり
後
しりて空の暮小七がうたの
助
は福をたのむの事
代
葉の多しとて
後
しりてその作
代
は
全
代
全
形
形
日
古

り宗

忠益

後人

空方

遠保

後人

を不美

摺改

澄波

忠を

後人

式子

忠良

通昭

全
月
代
日
全
代
全
形
形
日
古

讀人不知

全

後人

三木

西

あ

空

朝

三

松

と

丹

枕

扇

瓜

夕

蓮

風

氷室

後接 夜の目小ると消ぬ老水けりし風をたてし心 乾実

夕立

千秋の後の秋見へるに物思ふ事ぞ其の若狭や人多 見性
有 ありし夕立の涼しき風を吹かせし夕立の心は 大炊川
代 夕立の雨小くしるが納る水はどと大蛇せし 仲々
くふとあくとくふんふまに水はどと流れし 古川流
新 涼しき夕立の雨ぞ打るむし村にぬゆふ立の風 以鐘
六 夕の目小くしる夕立の心はどと消ぬとふくむ 夕立人
新 十市小夕立とくし夕立の天のくしる夕立の心 後接
代 雨はどと夕立とくし夕立の心はどと消ぬとふくむ 宗園
新 川に小夕立とくし夕立の心はどと消ぬとふくむ 好忠
全 夕立とくし夕立の心はどと消ぬとふくむ 後夕我
半 雨のわらわらとくし夕立の心はどと消ぬとふくむ 後夕相院
新 夕立の雨はどと夕立の心はどと消ぬとふくむ 西り
付 夕立の雨はどと夕立の心はどと消ぬとふくむ 有徳

夕立

夕立の雨はどと夕立の心はどと消ぬとふくむ 後接

川 夕立

川に小夕立とくし夕立の心はどと消ぬとふくむ 好忠

園 夕立

園に小夕立とくし夕立の心はどと消ぬとふくむ 宗園

野 夕立

野に小夕立とくし夕立の心はどと消ぬとふくむ 西り

納涼避暑日

納涼避暑日 有徳

納涼風

新 夕立の涼しき風を吹かせし夕立の心は 兜
代 夕立の涼しき風を吹かせし夕立の心は 夕立
有 夕立の涼しき風を吹かせし夕立の心は 夕立
全 夕立の涼しき風を吹かせし夕立の心は 夕立
半 夕立の涼しき風を吹かせし夕立の心は 夕立
新 夕立の涼しき風を吹かせし夕立の心は 夕立
付 夕立の涼しき風を吹かせし夕立の心は 夕立

樹陰納涼

樹陰納涼 夕立の涼しき風を吹かせし夕立の心は 夕立

軒陰納涼

軒陰納涼 夕立の涼しき風を吹かせし夕立の心は 夕立

本流納涼

本流納涼 夕立の涼しき風を吹かせし夕立の心は 夕立

山家納涼
山陰納涼

浦納涼

船納涼

川邊納涼

水辺納涼

納涼至晚

夜納涼

對泉志夏

花對泉

泉聲入夜涼

代 山家 西行
くあじの枝のそと山いせそとまふ涼るん

形 教長
あつてく草のあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

代 信家
秋なる岸の陰小悲しく吹雪ふゆ秋の川を

全 信家
夏衣からのうらみうらみ浪のそくそく秋を

日 信家
浦のせいの早船浪くくくく風の涼

前 家経
あなづるまゝ家の柳蔭夕せをねまぐりゆら

全 実休
川邊涼くく浪の立ゆまきら社せの

全 燕因
せらとむら下あふくくくく多功秋の涼

代 後鳥羽院
山陰や岩のそとあきくくくく涼む

月 後鳥羽院
くくくそのくくくく小新夏の涼む日くく

全 後鳥羽院
いせの河津のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

有 実家
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

後 実家
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

後 実家
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

後 実家
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

後 実家
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

後 実家
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

後 実家
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

泉口敬有

樹陰敬有

掬泉水

松下泉

松下掬泉

涼風

涼風吹雪

涼風吹雪

秋風吹雪

秋風吹雪

秋風吹雪

形 敬有
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

全 敬有
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

全 敬有
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

全 敬有
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

全 敬有
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

全 敬有
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

全 敬有
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

全 敬有
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

全 敬有
くくくくく泉のそとあつて暮れて夜ふとれねとこのあや

晩涼如秋

水閣晩涼

樹蔭晩涼

松下逐涼

水邊涼於秋

樹陰為涼

樹陰堪涼

晚復涼

復涼

何夏被

代 夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

後 夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

廣夏被

夜夏被

夜夏被

夜夏被

夜夏被

夜夏被

水辺の夏被

日暮の夏被

夜夏被

夜夏被

代 夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

後 夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

夕べの涼のささけのまをば小秋の夕よきや
宇治入る

秋暘一夜

六月晦の夕

夏夜とて

夏雨

晩夏雨

夏風

夏風弄

夏暮

夏夕

夏浦夕

金 夕をばるけ小風の涼より一色に先ん秋の暮れを眺

た 夏と秋の夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入

る 夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夏山夕

夏夜

夏花真

夏夜短

代 夜が深くとぬねらふ山の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

夕の涼に吹入る夕の暮れを眺めたる夕の涼に吹入る

其山

友本

復甲

復友郷

関崎其

復磯別

復旅

旅のつれ

友旅有

可 此をて友きとありし白雲の夜りける天のくぐり

格 けりむせはあくあきい波さう山秋まつはるる老ふ社

秋 大向ふの雲の中葉散りわびく涙と友の別少るる

格 松籠るすの程の岸園の森の常小ちとぬれす

勅 中へ入るあつたえきり大木の星散りく身むか

代 意より海ありと友夜ほとや垣ののまの星

後格 志未れ立わしむる部公く小のふさかさうはくあり

格 越くくは越へ遠く来ぬ下園の夕風さうとま

格 高羽山さうく鳴る部公雲がふ成さうまをさう

秋 友夜ちりくさよし智をえひくふさよさうはく

可 立むる松林あつたの月鏡よいとわさう部公

全 家世の親樹といふくふ友さうと見えさう

秋 山さうる滝さうとあよ鳴蟬の巻何さうか

秋 復らりの草のさうと良や玉の月れあまのさう

侍従下皇

能宜後林

とよ夫人さう

忠告

法成部

益盛

子守白

り能

希律

雲と

小勅

結人さう

実守

兼麿

俊成

社頭復

復寺

友井

復川

友池

復池田

復舟

友鳥

復獸

復持

有 高とと林大つ鏡部公林の枝よかうさうと

代 叶森はさうの中とさうと林さびてさう子祝くれ

秋 葉の雪の林はえつとせは法よわらの親後よと

代 高草さう遠書の岩井友さうと天さうと

初 松川の代のとあつた祝友の海さうとやさう

代 かわる河浪さうとさうとあつた舟はさうと

全 友川のせが小鮎さうとさうと我れ親とさうと

代 志まよりあつた湖のさうとさうとさうと

代 又月夜のさうとさうとせの響のさうとさうと

代 友のさうとさうとさうと友新小志さうと

後格 友新のさうとさうとさうとさうとさうと

代 友夜さうとさうとさうと部公偉さうと

代 さうとさうとさうとさうとさうとさうと

代 さうとさうとさうとさうとさうとさうと

宗史母

大志おと

肥後

好忠

今

猷園

好忠

志方

為宗

右権

重之

讀人不知

西行

作者不詳

夏節

夏系

夏系ノ

夏眺中

夏人可

夏由懐

夏懐意

万々つた夜お招はなすまよせのさそひ移る月へ手 家持

夏系ハ志がらふまのれらりのの夜中の鏡歌ハ 久世

後ハ一音蝉のこ夜夜ハ程とととどわはくを 能因

のゆるり木のまよりこ月影の光はうとき蝉のこ夜 如乾

つぎまよふこ夏のまのあつた月影ハ心をこん夏引の 色房

このひよひまよふこ松風と志とてまよふ蝉の志ハ 読人可志

おきて夏月の夜はこせがあら夏系を孫やまら 全

夏ハこれいばこまよふこ足引のこハ夏も哉り合は 杉可久

さらのちらハ入夏小暑ハつぎハまよふこ 杉可久

まよふこまよふこハこせと せとら

おこてまよふのまよふ松鶴志がこ款の枝と小おと 杉那一久

代ハ年まよふまよふ款ハ来ぬれどまよふとまよふせと 世

夏系ハいとまよふまよふて後とどおはくを 志可

おハ松鶴のまよふまよふは松鶴のまよふまよふ 杉可

夏釋教

夏祝

夏秋樂

夏秋樂

夏月

五月

閏五月

六月

後ハ夏よりハ家の表ハ河とととらとのこれとととらハ 実方

おハ松鶴のまよふまよふとととらハ松鶴のまよふまよふ 道徳母

大ぬきの川のせとととらハ松鶴のまよふまよふとととら 世

松鶴のまよふまよふとととらハ松鶴のまよふまよふとととら 兼昌

のちらまよふまよふとととらハ松鶴のまよふまよふとととら 世

かつてハ渡あまむね川中ハ松鶴のまよふまよふとととら 世

わそりハ松鶴のまよふまよふとととらハ松鶴のまよふまよふとととら 貫之

松鶴のまよふまよふとととらハ松鶴のまよふまよふとととら 全

子親後のまよふまよふとととらハ松鶴のまよふまよふとととら 志可

六月のまよふまよふとととらハ松鶴のまよふまよふとととら 攝政左大臣

系とととらハ松鶴のまよふまよふとととらハ松鶴のまよふまよふとととら 後人可志

國公内吉
初
常より新入心
相模のわんま
善治の
まら
大武

